



情報通信プログラム 特別助教 崇風まあぜん(スーフィー マーゼン)

出身:シリア・ダマスカス市
趣味:観光、農園、家族と時間を過ごす
講義:医療データサイエンス、情報処理ソフトウェア
専門:医用画像解析、医療データサイエンス

ひとこと

AIと人間の差は小さくなっていますが、その「わずかな隙間」にあなたにしかできない価値があります。技術を使いこなしながら、マシンには代わることができない「自分だけの生き方」を見つけることが大事だと思います。

この研究はどう役立つ？ 研究から学べることは？

- 病院には毎日膨大な画像が貯まりますが、その多くはまだ十分に解析されていません。その「情報の山」から新しい発見を掘り起こす力が身に付きます。
- バラバラな医療データを整理し、研究に使える形に整える「データクリーニング&アノテーション」の基本から応用までをマスターできます。
- 膨大なデータをデータサイエンスで視覚化・整理し、医師が診断や治療の方針を決めやすくするための高度な分析手法を学べます。
- 人間だけでは何年もかかる解析を、AIを使って「より速く」「より正確に」行うための最新アルゴリズムの実装に挑戦できます。

研究内容

筋肉の健康と質の解析

- 医用画像からAIで筋肉を切り出し、どこにどのくらい脂肪があるかを3Dで詳しく調べます。
- この「脂肪のつき方」が、年齢・性別・運動習慣とどう関係しているかを分析します。
- データサイエンスを使って、一人ひとりに合った「筋肉の質」の新しい評価指標を作ります。

多角的なデータによる診断・治療支援AI

- 画像だけでなく、血液検査やカルテなど、いろいろなデータを組み合わせたAIを作ります。
- 心停止後の患者さんが、その後どう回復するかを予測するモデルを開発しています。
- 膨大なデータから、医師がより良い治療法を判断するためのサポートを目指します。

病気の進行パターンのモデリング

- 大規模なデータベースを統計学的手法で解析し、病気が「いつ」「どこから」「どのように」広がるのかを解明します。

